令和６年度　指定管理施設運営状況評価表

１．施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん	
指定管理者	団体名	医療法人　章士会
	代表者	三上　史雄
	所在地	むつ市柳町一丁目８番２２号
指定期間	令和　４年　４月　１日　～　令和　９年　３月　３１日　（　５年間　）	
指定管理業務の概要	介護サービス（介護老人保健施設）	

２．収支の状況

※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。
※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。
※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区　　分	計画額 ①	実績額 ②	増　減　(②－①)
収入合計 (a)	１２９，０００	１１７，６８１	▲１１，３１９
うち利用料金額	１２８，８００	１１７，４７６	▲１１，３２４
うち指定管理料	０	０	０
支出合計（B）	１４０，４００	１４５，４６９	５，０７０
うち人件費	１０４，５００	１０９，２０５	４，７０５
収支差　（A－B）	▲１１，４００	▲２７，７８８	▲１６，３８８
市への納入金	０	０	
計画額と比較した実績額の増減理由	・年間計画：ベッド利用率　91.6%（年間　9,700　1日あたり　26.6床） 理由：申込数と有効な待機者が減少し入所者の確保が出来ませんでした。 利用申込数：42　取下げ等：15　適応外：7　入所：16 実績：ベッド利用率　81.1%（年間　8,586　1日あたり　23.5床） 対前同　88.7%　▲1,089床 ・予定していない退職金の支給と令和3～5年度における過誤返戻がありました。		

３．施設利用の状況

単位：人

	区　　分	年間計画　①	年間実績　②	増　減　(②－①)
利用者数	介護老人保健施設 入所者延べ数	９，７００	８，５８６	▲１，１１４

利用者の声とその対応状況　※利用者アンケートの実施（ 有 ・ 無 ）（「無」に○）

提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員による利用者とその家族との定期的な面談により、苦情や相談を収集しています。その中で面会に係る回数と時間の制限の緩和について要望がありましたので、面会回数については、1回/月から制限なしへ、面会時間については、10分/回から20分/回へと延長することとしました。

４．自主事業の実施状況

単位：人、千円

事　業　名	利用者数	収　　入	支　　出
なし			

５．個別項目評価　※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準　Ａ 優　良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

Ｂ 適　正）：計画された業務水準を概ね達成した。

Ｃ 要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評　価　項　目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	－	－
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

６．指定管理者総合評価

㊟指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をＣとした場合は、改善策も記載すること。

・ベッド利用率を計画指標としてトレースする中で、昨年度の反省から入所申込に係る管理を適正かつ平準化することとしましたが、申込数は前年を下まわり、また当施設で対応しきれない例もあり、退所に合せた入所者の確保をすることが出来ませんでした。

・介護施設として入所者のための環境整備に努めるとともに、委員会活動、研修等を通して職員の業務の質の向上と職場環境の整備に継続して取り組んでおります。

７．市の所管課総合評価　㊟市の評価をＣとした項目についての指導内容も記載すること。

㊟所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をＣとした場合は、指導内容も記載すること。

継続した研修や衛生管理により適切なサービス提供が行われていると認識しています。

ベッドの利用率については、月によっては８割を切るなど利用者の減少が著しく、来年度の収入状況についても懸念されます。要望を受けての制限緩和を導入したとのことですが、利用申込者で適応外以外の方の内、半数が取り下げ等をしているとのことで、介護職員の減少や衛生管理などとの兼ね合いが難しいところではありますが、今後も利用者のニーズに寄り添った運営による状況の改善に期待します。